

京都支店が「にちぎん京都の休日セミナー」を開催

▼京都支店は、九月二十一日、二十二日に、旧店舗である京都文化博物館において、「辰野金吾没後一〇〇年イベント」にちぎん京都の休日セミナー」を開催しました。京都支店の旧店舗は、日本銀行本店や東京駅と同様に辰野金吾が建築を手がけました。明治三十九年（一九〇六）から約六〇年にわたり利用され、現在は京都文化博物館として親しまれています。イベント

当日は、二日間で延べ約四五〇名の皆さまに、ご来場いただきました。

▼セミナーでは、肥後雅博京都支店長が「日本銀行京都支店旧店舗時代の京都経済」と題して、旧店舗で営業を行っていた時代（一九〇六～六六年）を中心とする明治維新以降の京都経済の歴史について講演を行いました。講演では、近代都市化を進める中での第二琵琶湖疏水をはじめとした社会資本整備から、世界大戦や世界恐慌、高度経済成長期の京都経済について、当



辰野金吾が手掛けた京都支店旧店舗
(現・京都文化博物館〈国指定重要文化財〉)



肥後支店長による特別講演の様子



お札の偽造防止技術の紹介コーナー

時の写真や経済の動きが分かるグラフを盛り込んだスライドを交えつつ振り返りました。一時間で約一〇〇年間の京都経済の歴史を振り返るといった内容で、受講された方々は興味深く聴講されていました。

▼支店長講演のほかにも、支店の歴史や日本銀行の業務の紹介、お札の偽造防止技術や豆知識に関する講座のほか、辰野金吾が設計した日本銀行本店の建物を紹介するミニ講座も開催しました。受講者には、日本銀行京都支店を身近に感じていた

だけたほか、現存する辰野金吾設計の建物を肌で感じていただくことができました。

▼また、京都府金融広報委員会とも連携し、金融広報アドバイザーによる暮らしに役立つお金の講座も開きました。健康寿命を踏まえた老後資金の見積もり方や確保の仕方、金銭トラブルに巻き込まれないための注意点などについて丁寧に解説しました。

▼会場内には、常設の展示・体

験コーナーを設け、一億円（模擬券パック）や小判（レプリカ）の重さ体験、金塊や古いお札のレプリカ展示、世界最大のお金などのパネル展示を行いました。会場入り口には、京都支店の広報マスコットである「円香ちゃん」と猫の「一之助」やお札の顔出しパネルを設置しました。来場者からは、「日本のお金の偽造防止技術がとても高度であることが分かって良かった」といった感想が聞かれました。

会場入り口では京都支店広報マスコットの円香ちゃんと一之助がお出迎え



た。来場者には、職員がデザイン・作成したオリジナルの銀行券の裁断片入り葉を記念品としてプレゼントしました。

来場者には銀行券の裁断片入り葉をプレゼント



▼京都支店では、こうした地域とのつながりを大切にし、今後も地域経済の発展に貢献していきます。